

楽しさ満載！理想の学校

～私の個人的な夢～

今回は今年度の最終号として、『私の理想の学校』について書いてみたいと思います。これは、あくまでも私の空想であり、このような学校ができたらいいなと、そんな夢を書きました。

A君は市川三郷町立夢中学校の1年生です。朝、元気よく校門入ると、校長先生と教頭先生が立っていて「おはよう」と迎えてくれます。A君も元気よく「おはようございます」と返します。あいさつは社会人として他者と交わるための基本的なコミュニケーションツールだということを教わっているので全員が当たり前にあいさつを交わします。だから、この学校には、そもそも『あいさつ運動』というものはありません。〔拙稿 No.13 参照〕

しばらくすると始業です。でも、チャイムは鳴りません。皆、時計を見て自主的に行動します。『朝の会』が始まります。今日の予定についてはタブレットを見ればわかるので、ここでは、今日の学級目標と、個人目標を決め、毎日1人ずつ、最近楽しかったことや驚いたことを発表します。今日の学級目標は『生徒総会を意義あるものにしよう』に決まりました。A君の個人目標は、『みさと学を一步深める』と決めました。そして今日の発表者はB君で、昨日の部活でホームランを打ったことを身振り手振りで話してくれ、大うけでした。

1校時は『国語』です。A君は以前はあまり得意ではなく楽しくないなと思った時もありましたが、先生から“学習の楽しみ方”を教わったので、今は違います。それは国語辞典の活用の仕方です。それ以来、言葉に興味を持ち、今では『国語』の時間がとても楽しみになりました。

2校時は『社会』です。A君のもっとも得意で楽しい教科です。特に1年生で学ぶ地理が好きなので今日も授業が楽しく、学習が進みました。

3・4校時は『総合的な学習の時間』です。今日は特に、ふるさとキャリア教育である『みさと学』の研究を深める時間なので、A君の今日の個人目標も関わって充実した学習になりました。A君は自分が住んでいる地域の『地名』に興味を持ち、その『地名』がついた理由とその謎に迫ろうと取り組んできました。社会科の先生にアドバイスを受けて、町立図書館にも行って古い歴史の本を貸してもらったり、本町でそのことを研究している方を紹介していただいて、休日に父親と一緒にお話を伺いに行ったりもしました。今日はそれをタブレットを使って上手に発表できるように仕上げます。友達や先生からアドバイスをもらい、納得できるものができました。このような活動を『探究活動』というそうです。A君は『『みさと学』ってなんて楽しいんだろう』と思いました。〔拙稿 No.17 参照〕

5・6校時は生徒総会です。今日の学級目標でもある『生徒総会を意義あるものにしよう』を達成できるように自覚して参加しました。『意義あるもの』といっても抽象的なので、この下にはさらに具体的な目標があります。それは『人の意見を最後までしっかり聞いてから、必ず自分の意見を持つ』です。これを特に意識して臨みました。今日の議題は『1年間の生徒会活動のまとめ』でしたが、A君は他学年や他学級の意見をしっかりと最後まで聞くことを意識して、それは達成できました。そしてもう一つ、自分の意見を持つことについても、メモ帳にしっかりと「自分はこう思う」という意見を書くことができました。なおこの目標も、すべて自分たちで決め

たものです。

その後は、『清掃活動』です。本校の清掃は『無言清掃』と『見つけ清掃』がテーマです。『無言清掃』は読んで字の如しで、口を利かずに清掃することです。『見つけ清掃』は、自分で汚れている個所を見つけてきれいにすることです。A君は廊下の隅が汚れているのを発見したので、そこを中心に一生懸命きれいにしました。先生も無言ですが、僕たちをよく見ていて、反省会の時に適切な助言をしてくれます。清掃活動の最終目的は『自主性を育てる』ことなので、その結果として、その場所がきれいになるという考え方です。〔拙稿 No.06 参照〕

清掃が終わり、『帰りの会』が始まります。やることは『朝の会』で決めた学級と個人の目標がどの程度達成できたかを総括することです。「よくできた=達成できた」場合は、何をやったからできたのかを具体的に言葉にします。そして明日もそういうやり方でやればよいと確認するのです。「達成できなかった」場合は、「なぜできなかったのか」を具体的に挙げます。これが大事です。これがはっきりすれば、明日からはそれを改善すればよいということになります。最後に、先生からアドバイスをいただいて終わります。〔拙稿 No.19 参照〕

さあ、放課後は『部活動』です。A君はバスケットボール部に所属しているので、体育館へ向かいます。本校では部活動の目的もはっきりしています。それは『自主性』と『相手への敬意』を持つことです。顧問の先生のアドバイスを受けながら、練習メニューなど自分たちで話し合っ決めて決めます。練習後は、しっかりと反省し改善点を見つけて、次につなげます。先輩後輩なくあいさつをしっかり交わし、お互いをリスペクトしているので、とても楽しく有

意義な時間です。A君はゴール下を守るのが一つの役割ですが、これまで試合でどうしてもリバウンドが上手く取れず役割を十分に果せませんでした。そんな時、顧問の先生に、「リバウンドボールはどこに飛んでくるか、わかるか？」と聞かれたので、「よくわかりません」と答えると、「今日の探究課題だ、自分で調べてみる」と言われました。その日帰ってからタブレットで調べてみるとよくわかりました。それから、A君は守備の要となることができたのです。先生のアドバイスをもとに、自分で考えることの大切さを部活動で学びました。〔拙稿 No.04 参照〕

家に帰って夕飯を食べた後、A君は自分の部屋でタブレットを開きながら家庭学習を始めました。本校には『宿題』はありません。あくまで自主学习です。で、何をやるのかというと『苦手教科の克服』ではなく『得意教科の探究』の方が主です。だから楽しいのです。だから自主的にやってしまうのです。A君の得意科目である社会科の学びを基に、『みさと学』の学習を深めます。そう、『地名』の謎に迫るのです。発表原稿は授業中に仕上げたのですが、新たな課題が見つかったので、今度はどうしてもそれを解明したいと思っています。〔拙稿 No.20 参照〕

A君は床につきながら、「明日も学校を楽しむぞ」と思いながら、ぐっすりと眠りにつきました。

市川三郷町教育長 渡井 渡

